



日本人の3人に1人は持っているもの

一人で悩まないで 痔 について

デリケートな内容なのでなかなか人に聞くこともできず、自分には関係ないとか、痔はあるけれどもこんなものかなと思っっているという方もいらっしゃるかもしれません。実は痔は日本人の3人に1人は持っているものなのです。そして、放っておいて酷くなると治療が大変になったり、大きな手術が必要になったりすることもあります。症状のために日常生活に支障を来す場合もありそうな状態でお来院される方も多くいます。そんな痔を今回は取り上げます。



痔核（いぼ痔） -患者さんの半数以上、男女ともに多い-

さて、痔は大きく分けて3種類あります。一つは痔核。俗にいういぼ痔です。肛門部の血管に瘤（こぶ）が出来て、それが大きくなり炎症を起こします。症状は痛み、出血、肛門からの出っ張りなどがあります。治療は手術加療や内服、外用などの保存的加療があります。手術は痔核を切除する方法や特殊な薬液を注入する硬化療法などがあります。日帰り手術をしている施設もあります。適応は瘤の場所と出っ張り具合などで決まります。

*当院でも、日帰り手術（結紮切除術、ジオン注射併用療法）行っておりますのでご相談ください。

痔瘻（あな痔） -男性に多い-

次は痔瘻です。俗に言う穴痔。これは肛門周囲に炎症（肛門周囲膿瘍）が起き、これを繰り返すことにより肛門と直腸の間に瘻管と言うトンネルが出来てしまうことをいいます。男性に多いです。症状は痛み、腫れ、発熱、熱感、下着が汚れるなどがあります。痔瘻は市販薬では治療できないため医療機関を受診してください。放っておくと痛みが激痛になったり、治療がかなり困難な状態、場合によっては何回も手術をしなければいけない状態になり得ます。場合によってはその穴から便が出てくることも。注意が必要です。医療機関での治療は抗生物質等の内服、切開などの処置、または手術加療となります。

裂肛（切れ痔） -女性に多い-

最後は裂肛です。切れ痔ですね。女性に多く、読んで字の如く肛門が切れる疾患です。症状は出血、痛みです。治療は軟膏や内服などの保存的治療が多いですが、重症の時には手術をすることもあります。

痔の予防

これら痔の予防法が気になるころだと思えます。まずは**身体を温めて血流を良く**します。肛門周囲膿瘍や痔瘻の時は悪化することがありますので担当医に相談してください。**肛門部を清潔に**することも大切です。便秘、下痢の予防も重要になります。**食事内容の改善**をしてください。アルコールの取りすぎには注意が必要です。下痢やうっ血の原因となるからです。喫煙も症状を悪化させる因子ですのでご注意ください。また香辛料は排便時の肛門の刺激となるので控えましょう。**トイレで強くいきまない、同じ姿勢にならない**等が予防となります。

そして、最後に痔による出血だと思っていたら癌からの出血だったと言う可能性もありますのでちゃんと医療機関を受診するようにしましょう。

自由が丘メディカルプラザ

副院長 小林 奈々

日本外科学会外科専門医

患者さんのことを第一に考え、最善の道を提案し、理解して頂いたうえで共に歩んで治療をしていきます。健康維持は勿論のこと女性特有の症状、お悩み、そして肛門のトラブルに至るまで可能な限り対応させていただきます。

